

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立愛宕山少年自然の家  
 所管課 子育て支援局 子育て政策課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	170,615,000
公益財団法人 山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	285,401,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	308,232,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	241,550,000

## 2 施設の概要

所在地	甲府市愛宕町358-1
設置年月日	昭和48年8月9日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 昭和48年8月1日
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○建物面積 2,663㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上4階建て ○施設の内容 ・1階 大ホール 144㎡ ・2階 工作室 78㎡、第一研修室 74㎡、第二研修室 67㎡、 展示ロビー 73㎡ ・3階 食堂 156㎡、浴室 ・4階 談話室、宿泊室 23㎡(15部屋、各10名定員)、事務室 96㎡
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	一括管理施設:山梨県立愛宕山こどもの国

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	63,368,983	65,996,419	61,799,757	65,784,077	57,179,291	
支出合計	53,875,357	60,282,576	54,526,673	51,250,653	55,834,290	
収支差額	9,493,626	5,713,843	7,273,084	14,533,424	1,345,001	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	15,238人	12,889人	2,470人	3,333人	4,660人	施設利用者数、 事業参加者数の合計
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和4年度の利用者数の目標値は3,399人であったが、実績値は4,660人であり目標値を達成した。満足度の高いサービスを提供していることが目標達成の要因として挙げられる。  
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前ほどの利用者数に回復することはなかったが、社会活動自体がまだ、コロナ禍以前の状態に向けて回復途上という状況も踏まえると、令和5年3月末での閉所を控え、できるだけ多くの利用者に利用して頂くということができたことと評価できる。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

施設は業務計画書等に基づき適切に管理されている。  
アンケート調査による利用者満足度も「満足」・「どちらかといえば満足」と回答した割合が100%となっており、概ね適切に運営されている。  
定期評価では、新型コロナウイルス感染症の影響等で目標が達成できない事業もあったものの、施策推進業務については概ね適切に運営されていると評価した。  
利用者数についても着実に回復しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前ほどの利用者数に回復することはなかったが、閉所するまでの間、できるだけ多くの方に利用していただくことができたことと評価できる。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

利用者へのアンケート調査や実施事業への参加率などを参考に、利用者の満足度向上を図るとともに、業務計画書等に沿った適正な施設運営に努めた。  
また、令和4年度も感染対策に留意しながら、自主事業を実施しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止された事業もあった。  
一方で令和4年度には、新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小も踏まえ、委託金額の見直しを行ったため、概ね予算を最大限に活用して事業が展開された。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立愛宕山少年自然の家  
 所管課 子育て支援局 子育て政策課  
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

## 1 利用状況

(単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	施設利用者数	14,656	12,445	2,162	2,928	3,857
	事業参加者数	582	444	308	405	803
	利用者数合計	15,238	12,889	2,470	3,333	4,660
	目標値	21,072	19,096	19,477	2,628	3,399
	実績/目標割合	72.3%	67.5%	12.7%	126.8%	137.1%
	目標値の設定方法	H30年までは、前年度目標値の2%増で設定されていた。 R元以降は、H29の実績値18,722人を基準として、毎年2%増とする現指定管理者の募集提案時の目標値を設定。 R3-R4:新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ前年度実績の2%増を目標値として設定				
利用率	稼働率等(利用率)	32.8%	29.2%	6.2%	8.4%	10.7%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用部屋数/宿泊可能部屋数				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2)山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
----------	---

## 3 補修工事等の状況(令和4年度)

(単位:円)

管	消防設備修繕	110,000
管	防火扉修理	87,560
管	シャッター修理	52,580

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和4年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額



# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	あたごやま親子陶芸教室	親子	愛宕山少年 自然の家
2	自然の家ファミリーウィーク	親子	愛宕山少年 自然の家
3	利用者支援事業	施設利用者	愛宕山少年 自然の家



## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設管理全体について、関係法令を遵守し、点検整備を行うとともに、専門知識を必要とする設備については外部委託により、適切に維持管理業務を実施した。 また、職員で対応できるものについては、建物の巡回・点検整備を適切に実施した。	施設管理全体について、関係法令を遵守し、点検整備を行うとともに、専門知識を必要とする設備については外部委託により、適切に維持管理業務を実施した。 また、職員で対応できるものについては、建物の巡回・点検整備を適切に実施した。
運営業務	申込から利用時まで、自然の家ガイドライン及びグリーン・ゾーン認証基準を遵守して新型コロナウイルス感染症対策を徹底するなど、安心・安全な管理・運営に努めた。	利用者の安全対策を図り、適正に執行された。 新型コロナウイルス感染症対策も徹底されており、利用者の安心・安全に配慮した管理・運営が行われた。
利用状況	新型コロナウイルス感染症の影響に加え、愛宕山こどもの国の改修工事に伴う活動エリアの縮小の影響もあり、利用者数、稼働率ともに平常時に比べて利用者数減少した状況が続いているが、ゲーム水路を利用した幼児用手漕ぎボート体験など、新たな活動エリアを開拓し、魅力ある事業を実施した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛傾向の影響により、引き続き、団体等の利用が低調であったことから、平常時に比べて利用者数が少なかったことについて理解はできる。また、自然の家オープンデーのように、自然の家の思い出を振り返るイベントを企画するなど、閉所を控え、できるだけ多くの方に利用していただけるよう努力する取り組みも行われていた。
収支状況	利用者の減少による燃料費(重油)や使用料(シーツ・枕カバー)などの支出の減を見込み、委託料の見直しが行われたことから、ほぼ予定どおりの収支状況であった。	令和4年度については、利用者の減少を踏まえ、委託額の見直しを行っていたことから、概ね予算を最大限に活用した事業が展開された。
自主事業	感染対策に留意しながら、自主事業も順次実施しているものの、新型コロナウイルス感染拡大防止への臨時特別協力要請なども踏まえ、全面的な再開には至っていない。	新型コロナウイルス感染症の流行以前ほどには活発に事業は実施できなかったものの、親子陶芸教室や自然の家ファミリーウィークなど、施設の特性を活かした魅力ある事業が実施され、閉所するまでの間に、できるだけ多くの方に利用していただく事ができた。
利用者満足度	対応やサービス面など高い満足度が得られている。	概ね高い評価を得ており、利用者の声でも、職員の親切で温かい対応に感謝する声が多く寄せられていることは高く評価できる。

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
職場体験事業	<p>愛宕山少年自然の家における実習をと おし、青少年の健全育成に対する理解を 深め、早い段階から将来への明確な目標 を構築してもらうため、職場体験・インター ンシップを受け入れる人数を評価指標と し、目標値5人を設定した。 新型コロナウイルス感染症対策に留意 しながら、受け入れを調整したが、今年度 は希望者が少なく、受け入れ実績は3人 となり、実績は目標値を下回った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により縮小 した社会活動が、回復傾向にある中、教育現 場において、従来の実習受け入れ先で実習 が可能となってきたことから、目標は達成 できなかったものの、事業の目的は達成でき たと判断できる。</p>
里山再生事業	<p>里山で採取されたツルや木の実を使っ た工作体験などを通し、甲府の里山とし て親しまれている愛宕山に対する理解を 深めていただくため、イベントの参加者数 を評価指標とし、目標値を30名とした。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底 しながら、周知・募集を行った結果、イベ ントへの参加者数の実績は28人となり、 実績は目標値を下回った。</p>	<p>愛宕山に対する理解を深めていただく意義 のある事業であるため、次年度は少年自然の 家は閉所するが、こどもの国の事業として事業 を継続することを検討すること。</p>
自然体験事業	<p>施設の特性、立地条件を活かし、自然 に触れあう機会の提供を推進するため、 イベントの参加者数を評価指標とし、目 標値を280人とした。 新型コロナウイルス感染対策を徹底しな がら、周知・募集を行ったが、イベントへ の参加者数の実績は216人となり、実績 が目標値を下回った。</p>	<p>季節ごとに実施されている「あたごやま自然 観察会」の春の開催回について、新型コロ ナウイルス感染拡大防止の観点から実施されな かったことが、目標未達成の大きな理由であ る。 目標は未達成であったが、事業に対する ニーズは十分にあるので、引き続き感染防止 対策に留意しながら事業を実施すること。</p>

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

